

期日ハ講和條約ノ效力ヲ生スル翌日トシ内
閣ニ於テ之ヲ記入セムトスルモノニシテ相當ノ措
置ト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

年月日 書記官長

儀長 宛

明治三十八年十月三十一日

書記官長 都筑

主筆 書記官

書記官

長

臺灣總督府官知中改正ノ件 審査報告

謹テ今回御諮詢ノ臺灣總督府官知中改正ノ件ヲ

審査スルニ參事官長ハ當初臺灣ニ於テ多數以

規ノ制定ヲ要シ參事官ノ事務繁劇ヲ極メ且時

期ニ於テ主トシテ参事官ノ事務ヲ統督スルノ任ニ當リ且ノ
後ニ至リテハ兼テ之ヲ總務局長ノ任ニ當リ来リタルモ今日ニ於
テハ諸般ノ制度略整備ニ就キ参事官ノ事務ヲ統督
スルカ爲ニ斯ノ如キ高官ヲ存置スルノ必要ヲ認ナス而シテ
總務局ニ於テハ地方政教學務其ノ他許多ノ事務ヲ取

扱ヒ廻ル繁劇ナルヲ以テ寧ロ他ノ四局ト同シク専任局
長ヲ置キテ^{局長}之ヲ掌理スルカ適當ナリトシ参事官長
ヲ廢シテ總務局長ヲ置カントスルモ之ニシテ機宜ニ適
シタル措置ト認め依テ原案ノ通可決セシ然ルハ之ヲ
思料ス

右様ヲ審査、結果ヲ報告ス

年月日

書記官長

議長宛

明治三十八年十月三日

書記官長 篠田

主筆 書記官

長

書記官

外交官及領事官官制中改正件、領事官特別任用令及明治三十七年勅令等、改正件、註大使館通譯官、関之件、審査報告、謹テ御諮詢、外交官及領事官官制

中改正件外三件ヲ審査スル、今日日英